

日本の株式市場

・下記で使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。

市場の動向

日本の株式市場の代表的な指数である東証株価指数(TOPIX)は、16日比で1.33%上昇しました。
週初は、前週末の米国株式市場が底堅く推移したことなどから前週の流れを引き継ぎ大きく上昇して始まりました。ただし米国の休日や中国の旧正月休暇を受けた市場参加者の減少により売買代金は週を通して低水準にとどまりました。FOMC(米連邦公開市場委員会)の議事録で景気への楽観的な見通しが示され米国の長期金利が上昇したことなどから下落する局面もありましたが、円高米ドル安の動きがいったん落ち着いたことなどが買い安心感につながり、週間では上昇しました。

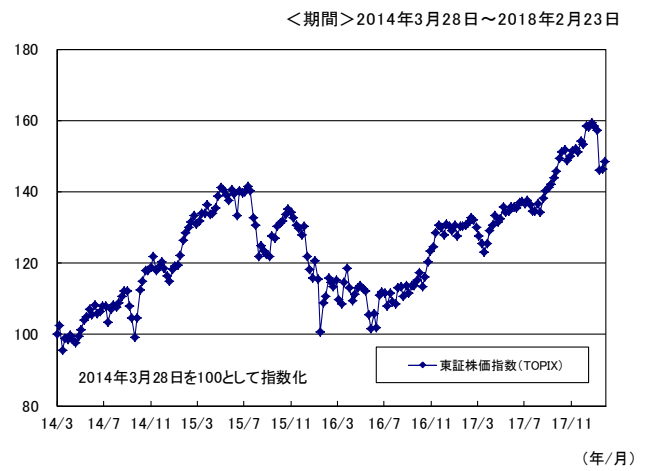
今後発表予定の主な経済指標など

- 28日 鉱工業生産指数(1月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊
騰落率がマイナスの場合: 😞
騰落率が横ばいの場合: 😐

先週の騰落率	先週の相場動向
1.33%	😊



<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成
東証株価指数(TOPIX)の指数値及びTOPIXの商標は、株式会社東京証券取引所(以下「東証」といいます。)の知的財産であり、株価指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利及びTOPIXの商標に関するすべての権利は東証が有します。

世界の株式市場

市場の動向

世界の株式市場の代表的な指数であるMSCI-KOKUSAI指数は、16日比円ベースで、0.70%上昇しました。
米国株式市場(現地通貨ベース)は、アトランタ連銀、ダラス連銀の各総裁の講演での発言や、FRB(米連邦準備制度理事会)の金融政策報告書において、利上げペース加速への懸念が後退したことなどから上昇しました。
欧州株式市場(現地通貨ベース)は、英一般消費財メーカーの決算発表が市場予想を下回るものとなったことなどから下落したものの、対米ドルでユーロ安が進行したことなどから反発し、週間では小幅上昇となりました。
アジア(日本を除く)オセアニア株式市場(現地通貨ベース)は、米原油在庫が市場予想に反して減少したことなどから原油高となり、上昇しました。

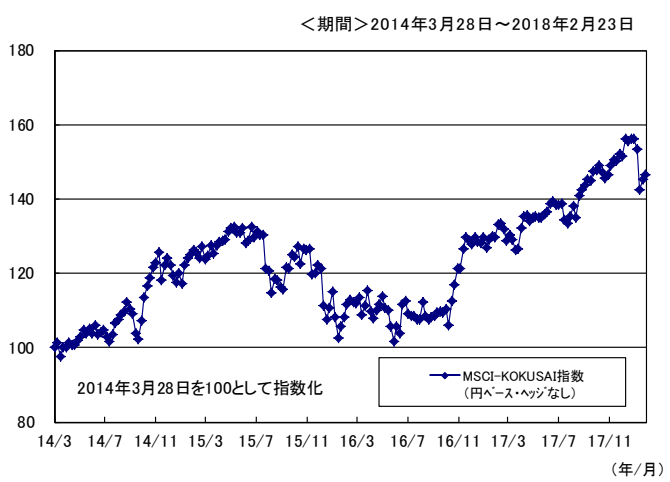
今後発表予定の主な経済指標など

- 27日 米耐久財受注(1月)
- 27日 米コンファレンスボード消費者信頼感指数(2月)
- 3月1日 米ISM(サプライマネジメント協会)製造業景況感指数(2月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊
騰落率がマイナスの場合: 😞
騰落率が横ばいの場合: 😐

先週の騰落率	先週の相場動向
0.70%	😊



<指数出所> FactSetからのデータを基に野村アセットマネジメント作成
<為替出所> 当該日ロンドン時間16時発表のWMMロイターの為替レートを基に野村アセットマネジメント作成
MSCI-KOKUSAI指数は、MSCIが開発した指数であり、同指数に対する著作権、知的財産その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

・下記で使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。

日本の債券市場

市場の動向

日本の債券市場の代表的な指数であるNOMURA-BPI総合は、16日比で0.12%上昇しました。

日本債券市場は、週内に実施された日銀オペが堅調な結果となったことや、20年債の入札結果が投資家の債券投資需要の底堅さを示す好調な結果であったことを受けて、上昇しました。

長期金利の指標となる10年国債利回りは、16日比で低下(価格は上昇)し、0.053%となりました。

今後発表予定の主な経済指標など

- 28日 鉱工業生産指数(1月)

など

	2018/2/16	2018/2/23	変化幅
日本10年国債利回り*	0.059%	0.053%	-0.006%

※ブルームバーグ・ジェネリック10年国債利回り

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

騰落率がプラスの場合: 😊

騰落率がマイナスの場合: 😞

騰落率が横ばいの場合: 😐

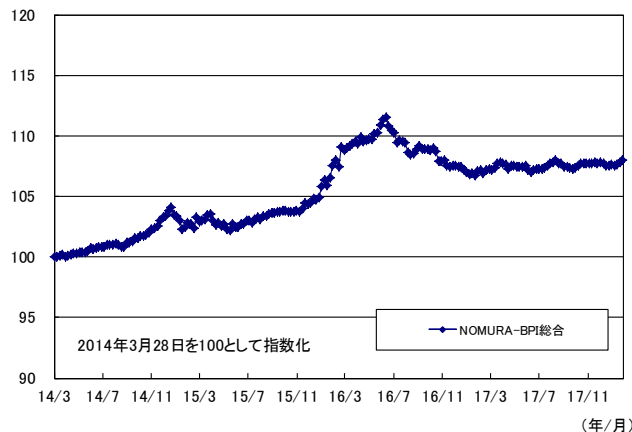
先週の騰落率

0.12%

先週の相場動向



<期間>2014年3月28日～2018年2月23日



NOMURA-BPI総合	2018/2/16	2018/2/23	騰落率
	380.71	381.18	0.12%

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

NOMURA-BPI総合は、野村証券株式会社が作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他の権利は野村証券株式会社に帰属しております。また、野村証券株式会社は、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するのではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

世界の債券市場

市場の動向

世界の債券市場の代表的な指数であるFTSE世界国債インデックスは、16日比円ベースで、横ばいとなりました。

米国債券市場(現地通貨ベース)は、FOMC議事録で楽観的な景気への見通しが示されたものの、欧州の債券利回りの低下(価格は上昇)の動きにつれたことなどから、債券利回りはほぼ横ばいとなりました。

欧州債券市場(現地通貨ベース)は、2月のユーロ圏製造業PMI(購買担当者景気指数)が市場予想を下回ったことなどを背景に、ドイツ国債利回りは低下しました。

為替は、16日比で円/ドルレートは円安・ドル高、円/ユーロレートは円高・ユーロ安となりました。

今後発表予定の主な経済指標など

- 27日 米耐久財受注(1月)
- 28日 ユーロ圏CPI(消費者物価指数、2月)
- 3月1日 米ISM製造業景況感指数(2月)
- 1日 米個人所得・個人支出(1月)
- 1日 英製造業PMI(2月)

など

	2018/2/16	2018/2/23	変化幅
米国10年国債利回り*	2.875%	2.866%	-0.009%
ドイツ10年国債利回り*	0.706%	0.653%	-0.053%

騰落率がプラスの場合: 😊

騰落率がマイナスの場合: 😞

騰落率が横ばいの場合: 😐

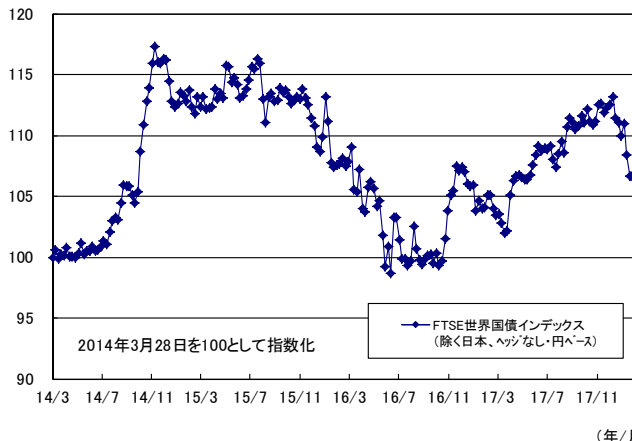
先週の騰落率

0.00%

先週の相場動向



<期間>2014年3月28日～2018年2月23日



FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	2018/2/16	2018/2/23	騰落率
	440.87	440.88	0.00%
円/ドル	106.05円	106.62円	0.54%
円/ユーロ	132.01円	131.12円	-0.68%

<指数出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成
<為替出所>当該日ロンドン時間16時発表のWMロイターの為替レートを基に野村アセットマネジメント作成

FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

※ブルームバーグ・ジェネリック10年国債利回り

日本のREIT市場

・下記で使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。 ・REITとは、不動産投資信託証券を指します。

市場の動向

日本のREIT市場(J-REIT市場)の代表的な指数である東証REIT指数は、16日比で2.68%上昇しました。日本株式市場が上昇し投資家心理が改善したことや、一部の投資家による買いがあったことなどが背景にあります。
東京カンテイが発表した中古マンション価格月別推移によると、1月の首都圏中古マンション価格(70㎡あたり)は前月比-0.5%の3,598万円となりました。

今後発表予定の主な経済指標など

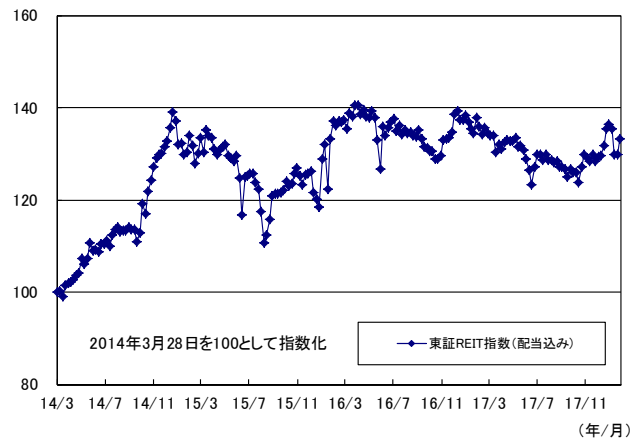
- 28日 鉱工業生産指数(1月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊
騰落率がマイナスの場合: 😞
騰落率が横ばいの場合: 😐

先週の騰落率	先週の相場動向
2.68%	😊

<期間>2014年3月28日～2018年2月23日



東証REIT指数(配当込み)	2018/2/16	2018/2/23	騰落率
	3,201.64	3,287.57	2.68%

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成
東証REIT指数の指数値及び東証REIT指数の商標は、株式会社東京証券取引所(以下「東証」といいます。)の知的財産であり、東証REIT指数の算出、指数値の公表、利用など東証REIT指数に関するすべての権利及び東証REIT指数の商標に関するすべての権利は東証が有します。

世界のREIT市場

市場の動向

世界のREIT市場の代表的な指数であるS&P先進国REIT指数は、16日比円ベースで、0.10%上昇しました。
米国REIT市場(現地通貨ベース)は、1月の米中古住宅販売件数が市場予想を下回り、前月比でマイナスとなったことなどから下落しました。週後半にかけては、米国の長期金利が低下したことなどから上昇しましたが、週間では下落しました。
欧州REIT市場(現地通貨ベース)は、欧州の株式市場の上昇に連れて、上昇しました。
豪州REIT市場(現地通貨ベース)は、豪州の株式市場の上昇に連れて、上昇しました。

今後発表予定の主な経済指標など

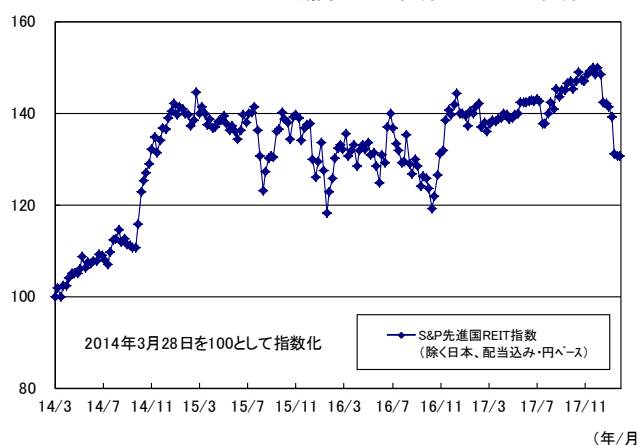
- 27日 米耐久財受注(1月)
- 28日 ユーロ圏CPI(2月)
- 3月1日 米ISM製造業景況感指数(2月)
- 1日 米個人所得・個人支出(1月)
- 1日 英製造業PMI(2月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊
騰落率がマイナスの場合: 😞
騰落率が横ばいの場合: 😐

先週の騰落率	先週の相場動向
0.10%	😊

<期間>2014年3月28日～2018年2月23日



S&P先進国REIT指数 (除く日本、配当込み・円ベース)	2018/2/16	2018/2/23	騰落率
	865.53	866.43	0.10%
円/ドル	106.05円	106.62円	0.54%
円/ユーロ	132.01円	131.12円	-0.68%

<指数出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成
<為替出所>当該日ロンドン時間16時発表のWMロイターの為替レートを基に野村アセットマネジメント作成

S&P先進国REIT指数はスタンダード&プアーズファイナンシャルサービスズ エル エル シーの所有する登録商標です。

新興国の株式市場

市場の動向

新興国の株式市場の代表的な指数であるMSCI エマージング・マーケット・インデックスは、16日比円ベースで、1.97%上昇しました。

中国株式市場(現地通貨ベース)は、米国の長期金利上昇への警戒感から下落する場面があったものの、旧正月連休中の堅調な消費を受け国内景気への楽観的な見通しや政策期待などから上昇し、週間では上昇しました。

ロシア株式市場(現地通貨ベース)は、原油価格の上昇や国内景気回復への期待などから、上昇しました。

ブラジル株式市場(現地通貨ベース)は、電力公益大手企業の民営化方針などが好感され、上昇しました。

南アフリカ株式市場(現地通貨ベース)は、自国通貨の上昇による海外売上比率の高い銘柄への悪影響やVAT(付加価値税)増税による小売り大手企業への悪影響が懸念され、下落しました。

今後発表予定の主な経済指標など

- 28日 中国製造業PMI(2月)
- 3月1日 ロシア製造業PMI(2月)
- 1日 ブラジルGDP(国内総生産、10-12月期) など

騰落率がプラスの場合: 😊

騰落率がマイナスの場合: 😞

騰落率が横ばいの場合: 😐

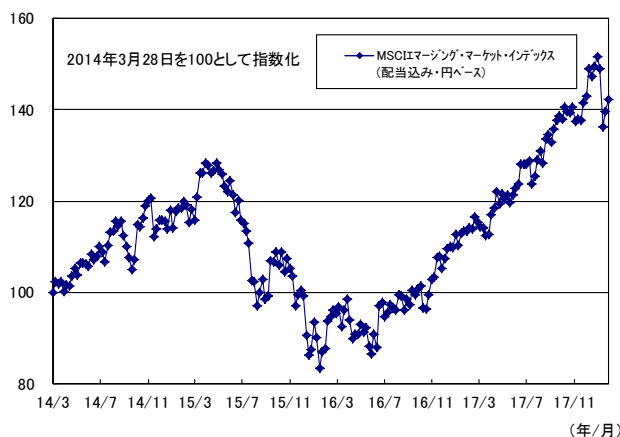
先週の騰落率

1.97%

先週の相場動向



<期間> 2014年3月28日～2018年2月23日



MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み・円ベース)	2018/2/16	2018/2/23	騰落率
	2,284.46	2,329.40	1.97%

<出所> FactSetからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した指数であり、同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

新興国の債券市場

市場の動向

新興国の債券市場の代表的な指数であるJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドは、16日比円ベースで、0.20%上昇しました。

南アフリカでは、21日に発表された予算案で、VAT増税や財政支出削減策などが発表され、新政権下での財政健全化に向けた期待が高まりました。このような環境下、南アフリカの債券指数は上昇しました。

ポーランドでは、1月の鉱工業生産販売指数および1月の小売売上高が前年同月比で市場予想を上回りました。このような環境下、ポーランドの債券指数は上昇しました。

騰落率がプラスの場合: 😊

騰落率がマイナスの場合: 😞

騰落率が横ばいの場合: 😐

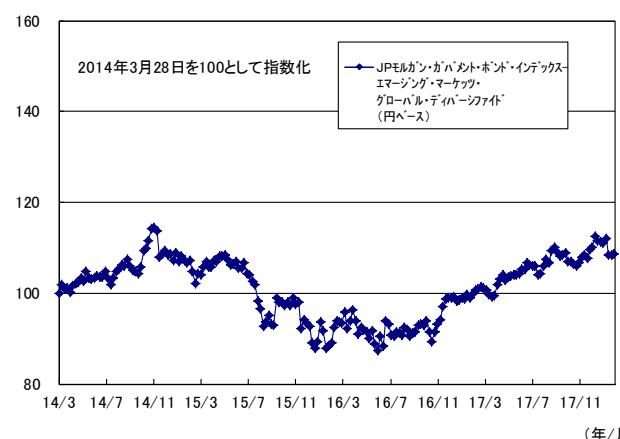
先週の騰落率

0.20%

先週の相場動向



<期間> 2014年3月28日～2018年2月23日



JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)	2018/2/16	2018/2/23	騰落率
	275.72	276.28	0.20%

<出所> ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(JP Morgan Government Bond Index-Emerging Markets Global Diversified)は、J.P.Morgan Securities LLCが公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

今後発表予定の主な経済指標など

- 26日 メキシコ小売売上高(12月)
- 28日 中国製造業PMI(2月)
- 28日 マレーシアCPI(1月)
- 3月1日 ブラジルGDP(10-12月期) など

【野村アセットマネジメントからのお知らせ】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし、投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

■投資信託に係る費用について

2018年2月現在

<p>ご購入時手数料 《上限4.32% (税込み)》</p>	<p>投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。投資信託によっては、換金時(および償還時)に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。</p>
<p>運用管理費用(信託報酬) 《上限2.1816% (税込み)》</p>	<p>投資家はその投資信託を保有する期間に応じた費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 *一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 *ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。</p>
<p>信託財産留保額 《上限0.5%》</p>	<p>投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。</p>
<p>その他の費用</p>	<p>上記の他に、「組入価値証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧下さい。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

商号:野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

加入協会:一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料は、参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。